

ダイアボンド DA3235A

ダイアボンドDA3235Aは、二液形のアクリル系粘着剤です。

§ 特長

1. 耐熱性に優れます。
2. 乾燥皮膜は透明かつ非黄変性です。
3. 耐可塑剤性があり、軟質塩ビに適します。

§ 用途

ウレタンフォーム、軟質塩ビシート of 粘着加工に最適です。

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主成分	アクリル樹脂
外観	無色透明
不揮発分 (%)	40.0 ± 2.0
粘度 (mPa·s) at20℃	6,000 ~ 12,000
硬化剤混合比	100 対 1.6 (重量比)
可使用時間 (時間) at20℃	約 4
保証期間 (月) at25℃	6
引火点 (℃)	-4
発火点 (℃)	427
主溶剤	トルエン, 酢酸エチル
標準荷姿	主剤 15 kg, 硬化剤 240 g

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 転写方式
3. 乾燥方法 粘着剤塗布後、80℃で2分乾燥が最適です。
4. 熟 成 乾燥後、室温で2日以上熟成させます。

§ 接着性能

1. 粘着力	10 N/25mm (180度はく離, 対ステンレス板 SUS304, 300mm/分)
2. 粘着性	6 (J.Dow 法 at20℃)
3. 保持力	60分-0.2 mm (at40℃, 死荷重 10N/20×20 mm ² , 対 SUS304)

基材：ポリエステルフィルム 25 μ, 塗布量 25 μ (dry), 乾燥：80℃×2分

§ 注意事項

- ・ 粘着剤は、可燃性のため作業場周辺での火気の取り扱いは厳禁して下さい。
- ・ 粘着剤は、引火性、毒性がありますので、換気には充分注意して下さい。
- ・ 粘着剤は、密栓して冷暗所に保管して下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。